

# 2025 年度事業報告

## 【 I 】事業概況

### 1. 事業概況

2025 年 1 月に「石川県労働者信用基金協会」から「ろうふく支援財団いしかわ（愛称：結 MARU 石川）」へと組織名称を変更し、新たな体制のもとで事業運営を進めてまいりました。新事業の確立に向け、令和 6 年能登半島地震で被災した高校生を対象とする奨学金給付事業をはじめ、子どもたちへの就学援助及び育成、労働者福祉事業、フードバンク事業、勤労者等の文化教養および生活向上に関する取り組みなど、様々な支援事業を展開してきました。

これらの事業をさらに推進するため、労働者福祉事業団体や関連諸団体との連携を強化しながら取り組んでまいりました。

### 2. 決算の概況

2025 年度決算では、2024 年 8 月に日本労働者信用基金協会へ事業譲渡したことによる保証料の大幅な減少を主因として経常収益は前期比 15,540 千円減少となりました。また、正味財産期末残高は前期比 147,662 千円減少して 1,226,941 千円となりました。

### 3. 保証事業の状況

#### (1) 保証債務の状況

保証債務残高は、1 件・1,067 千円となりました。

##### 【保証債務残高】

(単位：件・千円)

	件数	残高増減額	保証債務期末残高
有担保・住宅資金	1	▲448	1,067
合計	1	▲448	1,067

#### (2) 求償権回収の状況

求償権等の総回収金は、6,056 千円（求償権元金回収 2,692 千円・償却求償権受入額 1,858 千円・損害金受入額 1,505 千円）となり、前年度を 8,258 千円下回りました。

求償権元金の回収は、無担保 782 千円、有担保 1,910 千円の回収となりました。

##### 【回収金額の推移】

(単位：千円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
求償権元金	32,962	69,125	36,650	9,631	2,692
償却求償権	3,925	1,915	1,906	2,869	1,858
損害金	5,682	5,187	2,297	1,813	1,505
合計	42,569	76,229	40,854	14,314	6,056

### (3) 求償権残高

求償権残高は、1件・2,692千円減少して、10件・21,418千円となりました。

【求償権残高】

(単位: 件・千円)

	求償権残高増減		求償権期末残高	
	件数	件数	件数	金額
無担保	▲1	▲783	5	7,067
有担保	増減なし	▲1,910	5	14,350
合計	▲1	▲2,692	10	21,418

## 4. 新しい事業の状況

### (1) 子どもたちへの就学援助及び育成支援

#### ①能登半島地震被災者支援奨学金

令和6年能登半島地震の被災者を継続的に支援するため、採用された対象の奨学生409名に対し、奨学金として49,080千円を給付しました。本制度は2024年12月より給付を開始しており、採用した奨学生が卒業するまでに総額112,200千円を給付する予定です。

【能登半島地震被災者支援奨学金学校別給付状況】

(単位: 名)

学校名	2024年度 対象奨学生	2025年度 対象奨学生
石川県立輪島高等学校	224	148
石川県立輪島高等学校(定時制)	6	6
石川県立飯田高等学校	179	93
石川県立能登高等学校	105	86
石川県立穴水高等学校	36	18
石川県立門前高等学校	60	42
日本航空高等学校石川	21	13
石川県立七尾特別支援学校輪島分校 高等部	3	2
石川県立七尾特別支援学校珠洲分校 高等部	4	1
合計	638	409

#### ②2025年度高等学校等奨学金

経済的な事情により就学が困難な高校生30名を奨学生として採用し、2025年度に奨学金として3,600千円を給付しました。本制度は2025年6月より給付を開始しており、採用した奨学生が卒業するまでに総額10,800千円を給付する予定です。

#### ③2026年度高等学校等奨学金

2026年度高等学校等奨学金給付事業に向けて、石川県教育委員会や石川県高等学校長協会への働きかけを行うとともに、高等学校等各校との連携を図りながら、取組みを進めました。

## 【2025 年度高等学校等奨学金学校別給付状況】

(単位:名)

学校名	対象奨学生	学校名	対象奨学生
石川県立大聖寺実業高等学校	2	小松市立高等学校	1
石川県立小松高等学校	2	金沢市立工業高等学校	1
石川県立寺井高等学校	1	石川県立いしかわ特別支援学校高等部	3
石川県立金沢二水高等学校	2	石川県立小松特別支援学校高等部	1
石川県立金沢商業高等学校	1	金沢高等学校	1
石川県立工業高等学校	2	金沢龍谷高等学校	2
石川県立金沢北陵高等学校	3	遊学館高等学校	1
石川県立門前高等学校	1	星稜高等学校	2
石川県立輪島高等学校	2	石川県立小松北高等学校(定時制)	2
合 計			30

## (2) フードバンク事業の支援

認定 NPO 法人いしかわフードバンク・ネット(以下 IFBN)」の事務局運営を担うとともに、IFBN の理事として 1 名、運営委員として 3 名(うち 1 名は理事兼務)が運営に加わりフードバンク事業の支援に取り組んできました。フードドライブ (FD) やフードバンク (FB) で寄せられた食品は、子ども食堂や生活困窮者を支援する社会福祉協議会・地域包括支援センターなど、食品を必要とする団体へ届けました。これにより、食を通じたコミュニティの輪を広げるとともに、食品ロス削減にも努めてきました。

また、米不足の解消に向けては、政府備蓄米や石川県寄贈台湾米の無償交付申請を行い、在庫の確保と子ども食堂等への支援強化に取り組みました。

## 【認定 NPO 法人いしかわフードバンク・ネットの事業状況】

項 目	2024 年度	2025 年度
正会員数	39 団体	40 団体
賛助会員数	13 団体	16 団体
食品寄贈合意書締結団体数	56 団体	64 団体
食品譲渡合意書締結団体数	96 団体	111 団体
フードバンク寄贈回数	96 回	115 回
フードバンク食品寄贈量	32.950t	30.229t
フードドライブ受入回数	231 回	268 回
フードドライブ受入量	9.939t	7.469t
受入総重量	42.890t	37.698t
食品譲渡団体数	58 団体	65 団体
食品譲渡回数	818 回	844 回

#### 【政府備蓄米】

入荷日	政府備蓄米	提供団体先数(延べ) (子ども食堂・社会福祉協議会等)
9月24日	7月追加支援 第1回目入荷 1,360kg	26 団体へ引き渡し
10月21日	7月追加支援 第2回目入荷 1,320kg	26 団体へ引き渡し
11月26日	7月追加支援 第3回目入荷 1,320kg	21 団体へ引き渡し
12月18日	10月追加支援 第1回目入荷 1,360kg	26 団体へ引き渡し
1月27日	10月追加支援 第2回目入荷 1,320kg	24 団体へ引き渡し
2月24日	10月追加支援 第3回目入荷 1,320kg	40 団体へ引き渡し

#### 【台湾米】

日付	台湾米	提供団体先数
9月24日	石川県寄贈台湾米入荷 700kg	26 団体へ引き渡し

### (3) 勤労者の文化教養および生活の向上に関する支援

石川県労働者福祉協議会(以下 石川労福協)を中心とした事業団体との連携を深めながら、「自主福祉運動学習会」への協賛に向けた取り組みを進めるとともに、北陸労働金庫(以下 北陸労金)が実施する高校生向けマネー講座への支援を行いました。また、次年度開催予定の「北陸労金創立 25 周年記念セミナー(石川地区)」への協賛に向けた準備を進めていくこととしました。

## 5. 関係団体との連携強化

### (1) 公的団体との連携

奨学金給付事業を円滑に進めるため、教育委員会や高等学校等各校との連携を深めてきました。また、フードバンク事業では、自治体や社会福祉協議会等と連携して事業を支援してきました。

### (2) 労働者福祉事業団体との連携

石川労福協の構成団体として、理事会をはじめ労働者自主福祉運動活性化会議や諸行事に積極的に参加し連携を強化してきました。

### (3) 北陸労働金庫との連携

北陸労働金庫の職員が「マネー講座」を実施した高校に対して寄贈を行い、高校生の金融リテラシー向上に向けた活動を後押しすることができました。

### (4) その他諸団体との連携

奨学金給付事業やフードバンク支援事業の推進のために、関連する諸団体と幅広く連携を図ってきました。